

## 今週（3月15日から3月19日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日にあたる15日は堅調な地合いとなった。16日以降は新積み期を迎えたことでレートが若干低下したものの、週末にかけて水準を切り上げる展開となった。

日銀当座預金残高が480兆円台で推移する中、無担保コールO/Nは、邦銀を中心に▲0.030～▲0.002%のレンジでの出会いとなった。積み最終日となる15日の無担保コールO/N加重平均レートは▲0.016%と先週に引き続き堅調であった。ビッドサイドはしっかりしている一方、先週末で調整を終えている先も見られ、ここ最近の積み最終日としては落ち着いた展開となった。16日は▲0.019%と、積み初日としては高水準の出会い。17日以降も旺盛な調達意欲を背景に、日ごとにレートを切り上げる展開となった。19日は週末を跨ぐ取引にあたることから、更に取り上がる先が散見され、▲0.015～▲0.002%での出会いが見られた。ターム物に関しては、期内物のショートタームで引き合いが散見された。

3月18日～19日に開催された金融政策決定会合では、「より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検」が行われ、「貸出促進付利制度」の創設や「連続指値オペ制度」の導入等が決定された。

### ●レポ市場

今週のGC T/Nは、週を通してオファー・ビッド両サイドに厚みが見られる中、週間では概ね▲0.085～▲0.075%程度の狭いレンジで推移した。

SCは、個別銘柄では2y410～422、5y140～146、10y340～361、20y170～175、30y59～69、40y9～13等、カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3M物と1Y物の入札がややしっかりした結果となったことなどを受けてか、全ゾーンで堅調に推移し、3M物で▲0.105%近辺、6M物で▲0.120%近辺、1Y物で▲0.140%近辺での出会いが見られる展開となった。

16日に実施された短国買入オペは、前回から1兆円減額の1兆円でオファーされ、平均落札利回較差+0.002%、按分落札利回較差+0.002%と、無難な結果となった。

17日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.130%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1298%、按分落札利回▲0.1288%と、順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.140%出合いと、堅調に推移した。

18日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.101%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1009%、按分落札利回▲0.0986%と、ややしっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.106～▲0.104%出合いと、堅調に推移した。

また、金融政策決定会合後に国庫短期証券の買入れ方針が「金融市場に対する影響を考慮しながら1回当たりのオファー金額を決定する。当面は、1回当たりのオファー金額を、5,000億円～3兆円程度をめどとして、買入れを実施する」と発表された。国庫短期証券の買入れ方針の発表は2020年4月以来となる。

### ●CP市場

今週のCP市場は、週間償還総額が8,500億円程度に対して、発行総額は3,000億円程度と大幅な償還超であった。一部に大型発行案件が見られたものの、大半は小型案件であり、閑散なマーケットとなった。一般事業法人は例年通り、3月末の有利子負債残高を圧縮する傾向が見られており、3月末における償還額は現時点で5.3兆円程度となっている。新型コロナオペの担保需要から投資家側による積極的な買いが見られ、発行レートは過去最低水準を再び更新する状況となっている。19日における市場残高は先週より小幅に減少し、24兆円台半ばになることが見込まれる。

15日にはCP等買入オペが6,000億円オファーで実施された。足許の発行レートが最低水準で推移しており、業者の在庫に不足感が漂う中、入札結果は平均落札レート▲0.027%・按分レート▲0.045%と、前回（平均▲0.031%・按分▲0.036%）比で平均レートは上昇し、按分レートは低下した。応札額が6,507億円、応札倍率は1.08倍と、未達となった昨年8月18日以来の低倍率となったものの、期内物の売りニーズが一定以上あったためか、平均・按分共に落ち着いた決着となった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
3/15 (月)	29,766.97	0.105	109.05	△ 0.016	△ 0.081	4,829,500
3/16 (火)	29,921.09	0.095	109.19	△ 0.019	△ 0.085	4,832,400
3/17 (水)	29,914.33	0.090	109.13	△ 0.018	△ 0.082	4,843,800
3/18 (木)	30,216.75	0.100	108.96	△ 0.014	△ 0.081	4,869,100
3/19 (金)	29,792.05	0.110	109.09	△ 0.010	△ 0.083	4,885,700

## 来週（3月22日から3月26日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/22 (月)	1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		2月の米中古住宅販売
3/23 (火)	月例経済報告 (内閣府)	流動性供給 4,000億円 3/24発行	2月の米新築一戸建て販売件数
3/24 (水)	金融政策決定会合議事要旨(1月20・21日分 8:50) 2月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB6M 34,000億円 3/25発行	2月の米耐久財新規受注 2月の英消費者物価指数
3/25 (木)		40Y 5,000億円 3/26発行	10-12月期の米GDP確報値
3/26 (金)	3月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 67,000億円 3/29発行	2月の米個人所得・消費支出

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/22 (月)	▲ 200	88,100	87,900	CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,000  1,200	 400	600	88,500	国債利払い・大量償還 TB3M発行▲67000償還63600 TB1Y発行▲35000償還10000 5Y償還11000 10Y償還52300 20Y償還10300 変動15Y償還7900 エネルギー対策借入▲6500期日5000
3/23 (火)	0	4,000	4,000				0	4,000	
3/24 (水)	▲ 1,000	2,000	1,000	全店共通	▲ 3,600		▲ 3,600	▲ 2,600	流動性供給▲4000
3/25 (木)	▲ 2,000	32,000	30,000	新型コロナ支援 社債買入	▲ 99,900	1,500	▲ 98,400	▲ 68,400	特別交付税 年度未融資 TB6M発行▲34000償還27100
3/26 (金)	▲ 1,000	▲ 13,000	▲ 14,000				0	▲ 14,000	40Y発行▲5000
週間合計	▲ 4,200	113,100	108,900	—	▲ 103,300	1,900	▲ 101,400	7,500	

3/22は日銀予想、3/23以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、基本的には横ばい圏での推移が見込まれるが、オファーサイドのボリュームによっては更に水準を切り上げる可能性もあるため、引き続き動向が注目される。レポ市場は、GC T/Nは▲0.09～▲0.07%程度での推移を予想する。短期市場は、24日に6M物、26日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、26日にCP等買入オペが6,000億円で実施予定となっている。

主要なイベントは、25日の10-12月期の米GDP確報値公表が挙げられる。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。